

統合ソフトウェア 操作説明書（Setting機能）

目次

統合ソフトウェア 操作説明書（Setting機能）	1
Setting機能について	2
機能の概要	2
Setting機能の選択	3
本ソフトウェアのアカウント管理	4
アカウントを登録する	4
アカウント情報を編集する	8
アカウントを削除する	9
アカウントの自動ログイン設定を行う	10
顔認証用の顔データ管理	13
顔データを管理する	13
顔データを追加する	14
顔データを編集する	16
顔データを削除する	17
顔データを並び替える	18
GPU管理	19
プラグインで使用する GPU を指定する	19
本ソフトウェアの設定データ管理	21
設定データをエクスポートする	21
設定データをインポートする	22
Device Manager機能の設定	23
リスト表示の表示項目を設定する	23
EasyIP Setup Tool Plus機能の表示項目を設定する	23

Setting 機能について

機能の概要

Setting 機能は本ソフトウェアの動作設定全般を行う機能です。

- Setting 機能でできること

- 本ソフトウェアのアカウント管理

- アカウントの登録／編集／削除

- アカウントの自動ログイン設定

- 顔認証用の顔データ管理

- 顔データの追加/編集/削除/並び替え

- GPU 管理

- プラグインで使用する GPU の指定

- 本ソフトウェアの設定データ管理

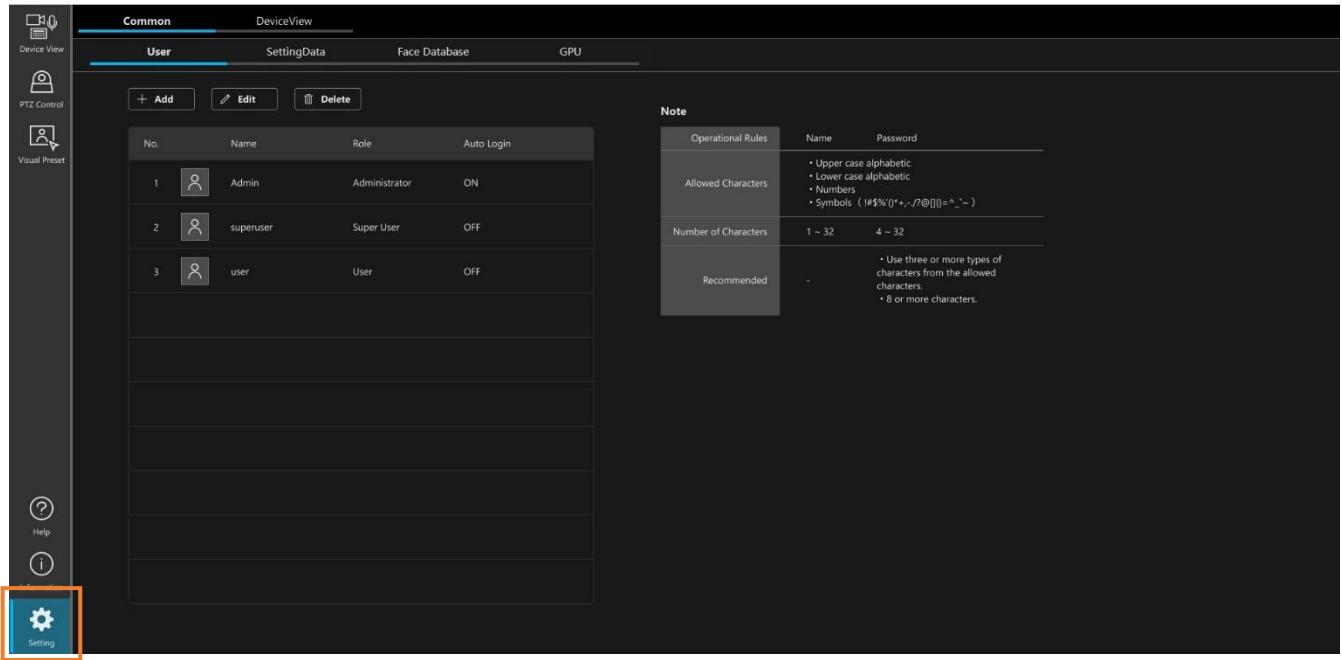
- 設定データのエクスポート

- 設定データのインポート

- Device Manager 機能の設定

Setting 機能の選択

画面左の機能選択エリアで[Setting]ボタンをクリックすると、画面が Setting 機能のものに切り替わります。



The screenshot shows a software interface for managing a device. On the left, there's a vertical sidebar with icons for Device View, PTZ Control, Visual Preset, Help, and Information. Below these is a large blue button labeled "Setting". The main area has a header with tabs: Common, DeviceView, User (which is highlighted in blue), SettingData, Face Database, and GPU. Under the User tab, there's a table with columns: No., Name, Role, and Auto Login. Three rows are listed: 1. Admin (Role: Administrator, Auto Login: ON), 2. superuser (Role: Super User, Auto Login: OFF), and 3. user (Role: User, Auto Login: OFF). Below the table is a "Note" section with two tables: "Operational Rules" and "Number of Characters". The "Operational Rules" table specifies allowed characters (Upper case alphabetic, Lower case alphabetic, Numbers, Symbols), character length ranges (1 ~ 32, 4 ~ 32), and a recommendation for using three or more types of characters from the allowed set and having 8 or more characters.

No.	Name	Role	Auto Login
1	Admin	Administrator	ON
2	superuser	Super User	OFF
3	user	User	OFF

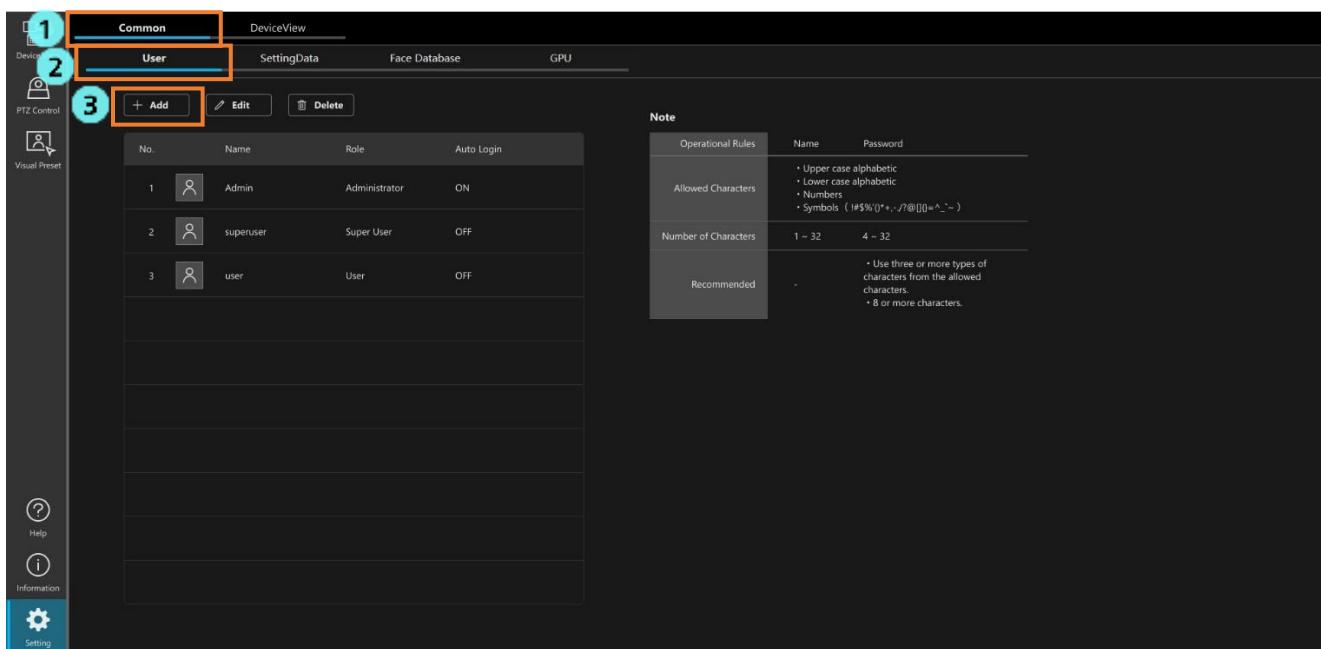
Operational Rules	Name	Password
Allowed Characters	<ul style="list-style-type: none">Upper case alphabeticLower case alphabeticNumbersSymbols (!#\$%&^~!@[] = ^~)	
Number of Characters	1 ~ 32	4 ~ 32
Recommended	<ul style="list-style-type: none">- Use three or more types of characters from the allowed characters.- 8 or more characters.	

本ソフトウェアのアカウント管理

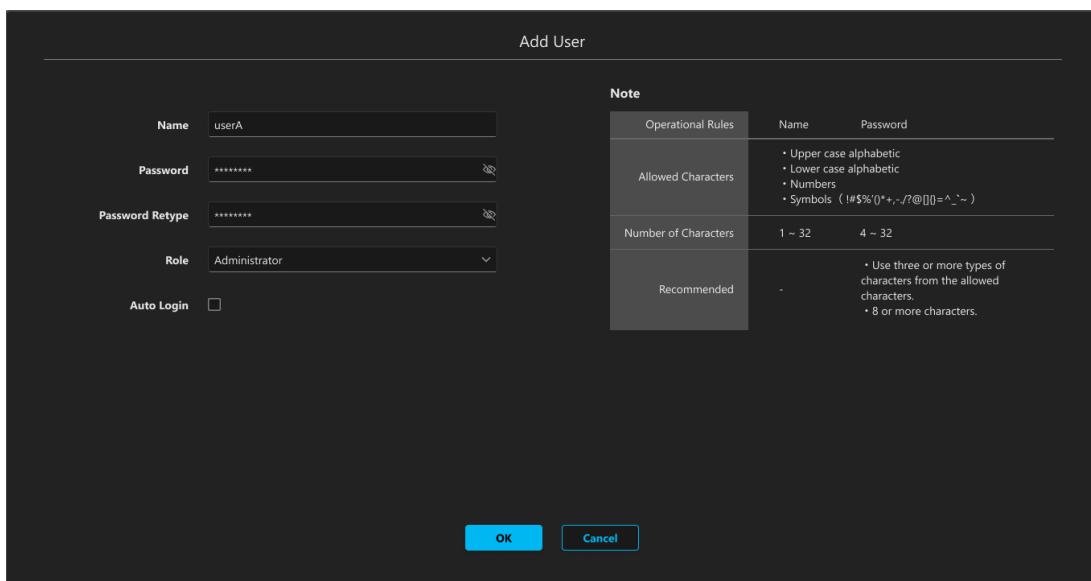
アカウントを登録する

本ソフトウェアの初回起動時に登録する管理者アカウント以外のアカウントを登録することができます。以下の手順で登録を行います。

1. 画面左上の[Common]タブをクリックして共通設定の画面を表示します。
2. 共通設定の画面で[User]タブをクリックしてアカウント管理画面を表示します。



3. [Add]ボタンをクリックするとアカウント登録画面が表示されます。



4. アカウント登録画面で必要な情報を入力します。

- ・Name

アカウント名を入力します。

使用可能な文字

- ・アルファベット大文字
- ・アルファベット小文字
- ・数字
- ・特殊文字(~!@#\$%^&*()_+¥|{})[<>,./?`-']

文字数

- ・1 文字以上 32 文字以下

- ・Password／Password Retype

パスワードを入力します。

使用可能な文字

- ・アルファベット大文字
- ・アルファベット小文字
- ・数字
- ・特殊文字(~!@#\$%^&*()_+¥|{})[<>,./?`-']

文字数

- ・4 文字以上 32 文字以下

セキュリティの観点から、パスワードは以下のルールに従って設定することを推奨します。

推奨ルール

- ・上記 4 つの使用可能な文字種類から少なくとも 3 種類を含み、かつ長さが 8 文字以上

- ・Role

作成するアカウントの権限を以下の 3 種類から選択します。

権限による違いの概要は以下の通りです。

Device Manager 機能、PTZ Control 機能の権限による制限の詳細は、それぞれの操作説明書の「アカウント権限による機能制限」を参照ください。

Administrator

デバイスへのアクセス：すべてのデバイスにアクセス可能

Device Manager 機能：すべての機能が操作可能

PTZ Control 機能：すべての機能が操作可能

Information 機能：すべての機能が操作可能

Setting 機能：すべての機能が操作可能

Super User

デバイスへのアクセス：すべてのデバイスにアクセス可能

Device Manager 機能：一部の機能は操作不可

PTZ Control 機能：すべての機能が操作可能

Information 機能：利用不可

Setting 機能：利用不可

User

デバイスへのアクセス：許可されたデバイスにのみアクセス可能

Device Manager 機能：一部の機能は操作不可

PTZ Control 機能：一部の機能は操作不可

Information 機能：利用不可

Setting 機能：利用不可

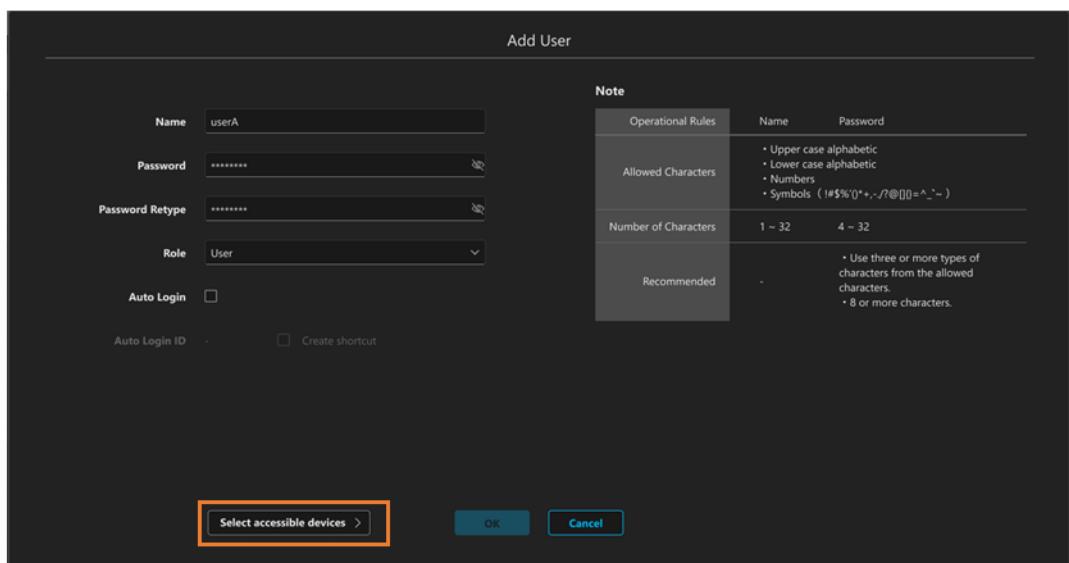
・ Auto Login

アカウントの自動ログイン設定を行います。

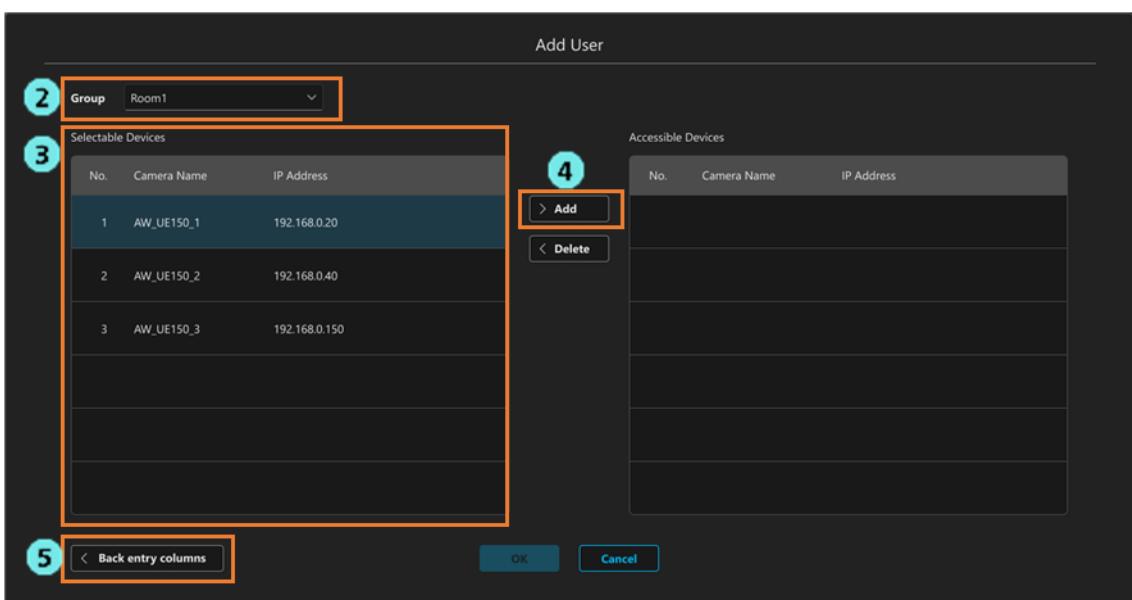
詳細は本節の「[アカウントの自動ログイン設定を行う](#)」を参照ください。

5. 権限で User を選択した場合は、アクセスを許可するデバイスを以下の手順で設定します。

- 1) アカウント登録画面の[Select accessible devices]ボタンをクリックすると、アクセスを許可するデバイスの設定画面が表示されます。



アクセスを許可するデバイスの設定画面



Group : グループを選択するためのドロップダウンリスト

Selectable Devices : グループ内のデバイスのうち、アクセスを許可しないデバイス

Accessible Devices : グループ内のデバイスのうち、アクセスを許可するデバイス

- 2) [Group]欄のドロップダウンリストでグループを選択します。
- 3) [Selectable Devices]のデバイスからアクセスを許可したいデバイスを選択します。
- 4) [>Add]ボタンをクリックすると、選択されたデバイスが[Accessible Devices]に移動します。
- 5) [Back entry columns]ボタンをクリックしてアカウント登録画面に戻ります。

6. アカウント登録画面で[OK]をクリックすると、アカウントが登録されます。

<NOTE>

- ・[OK]ボタンクリック時にパスワードが推奨ルールを満たしていない場合、警告メッセージが表示されます。パスワードを変更する場合は[Cancel]ボタンをクリックしてパスワードを変更してください。セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は[OK]ボタンをクリックして設定を完了してください。

アカウント情報を編集する

登録したアカウント情報の編集は以下の手順で行います。

1. 画面左上の[Common]タブをクリックして共通設定の画面を表示します。
2. 共通設定の画面で[User]タブをクリックしてアカウント管理画面を表示します。

The screenshot shows the User Management interface. The [User] tab is selected (Step 2). The user list table (Step 3) contains three entries: Admin (Administrator, ON), superuser (Super User, OFF), and user (User, OFF). The [Edit] button (Step 4) is highlighted, indicating the next step.

No.	Name	Role	Auto Login
1	Admin	Administrator	ON
2	superuser	Super User	OFF
3	user	User	OFF

Note

Operational Rules	Name	Password
Allowed Characters	• Upper case alphabetic • Lower case alphabetic • Numbers • Symbols (!#\$%^&*.,-/?@[]{}=^,_-)	
Number of Characters	1 ~ 32	4 ~ 32
Recommended	• Use three or more types of characters from the allowed characters. • 8 or more characters.	

3. アカウント一覧のリストから、編集したいアカウントを選択します。
4. [Edit]ボタンをクリックするとアカウント編集画面が表示されます。
表示内容はアカウント登録画面と同様です。
アカウント登録時と同じようにして、アカウントの情報を編集します。
5. アカウント編集画面で[OK]をクリックすると、編集内容が反映されます。

<NOTE>

- ・[OK]ボタンクリック時にパスワードが推奨ルールを満たしていない場合、警告メッセージが表示されます。パスワードを変更する場合は[Cancel]ボタンをクリックしてパスワードを変更してください。セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は[OK]ボタンをクリックして設定を完了してください。

アカウントを削除する

登録したアカウントの削除は以下の手順で行います。

1. 画面左上の[Common]タブをクリックして共通設定の画面を表示します。
2. 共通設定の画面で[User]タブをクリックしてアカウント管理画面を表示します。

The screenshot shows the DeviceView software interface. On the left, there's a vertical sidebar with icons for PTZ Control, Visual Preset, Help, Information, and Setting. The Setting icon is highlighted with a blue circle and labeled '1'. The main area has tabs at the top: Common (highlighted with a blue circle and labeled '1'), User (highlighted with a blue circle and labeled '2'), DeviceView, SettingData, Face Database, and GPU. Below the tabs is a toolbar with buttons for Add (+), Edit (pencil), and Delete (trash can). A large table lists users with columns: No., Name, Role, and Auto Login. The first three rows are highlighted with an orange box and labeled '3'. The fourth row is the last one in the list. The Delete button is highlighted with an orange box and labeled '4'. To the right of the table is a 'Note' section with operational rules for password complexity.

No.	Name	Role	Auto Login
1	Admin	Administrator	ON
2	superuser	Super User	OFF
3	user	User	OFF

Note

Operational Rules	Name	Password
Allowed Characters	• Upper case alphabetic • Lower case alphabetic • Numbers • Symbols (!@#\$%^&*+=-/[@][\]=^,-_)	
Number of Characters	1 ~ 32	4 ~ 32
Recommended	• Use three or more types of characters from the allowed characters. • 8 or more characters.	

3. アカウント一覧のリストから、削除したいアカウントを選択します。
4. [Del]ボタンをクリックします。
5. 削除確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックすると選択されたアカウントが削除されます。

<NOTE>

- ・登録されている Administrator 権限アカウントが 1 名のみの場合、そのアカウントは削除できません。

アカウントの自動ログイン設定を行う

条件を満たしたアカウントは、ログインを省略する自動ログイン設定を行うことができます。

以下の 2 つのパターンで自動ログインを行うことが可能です。

パターン 1 : Administrator 権限アカウントの自動ログイン

自動ログインが可能となる条件

- ・本ソフトウェアに登録されているアカウントが 1 名の Administrator 権限アカウントのみ
- ・アカウントの設定で[Auto Login]設定が ON になっている

パターン 2 : User 権限アカウントの自動ログイン

自動ログインが可能となる条件

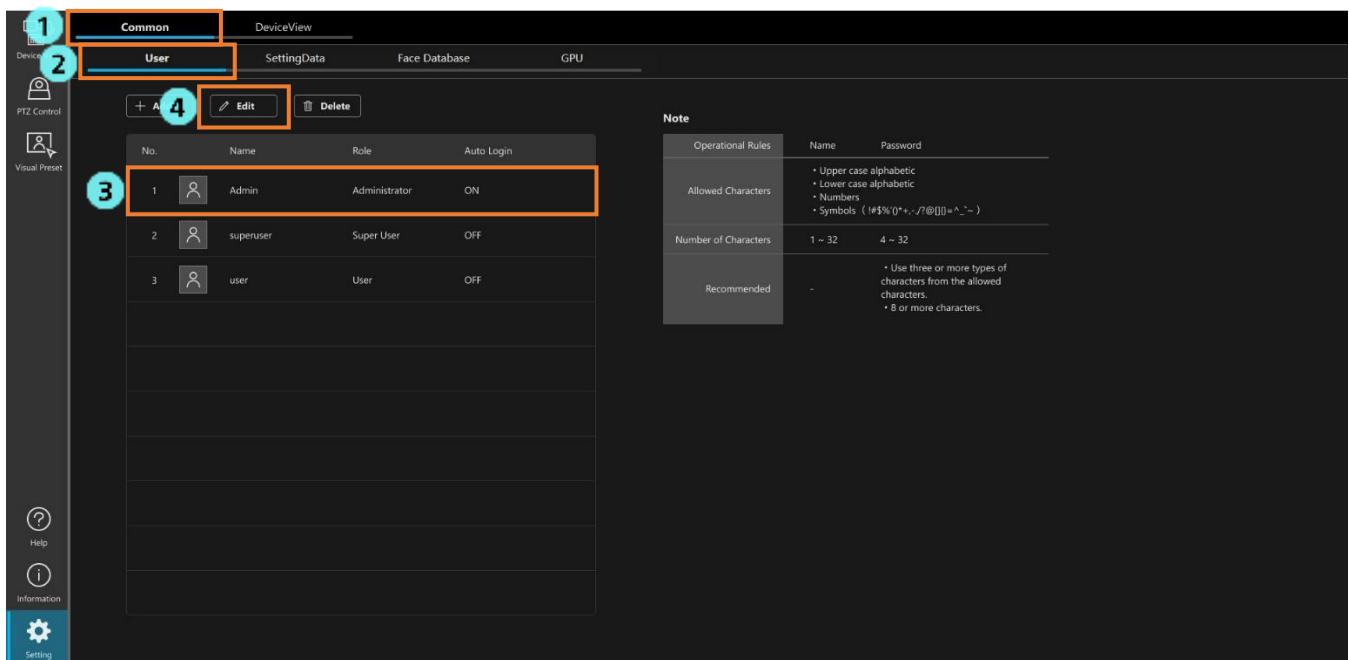
- ・アカウントが User 権限アカウントである
- ・アカウントの設定で[Auto Login]設定が ON になっている
- ・本ソフトウェアの GUI を開くときの URL に対象アカウントの自動ログイン用 ID が指定されている

<NOTE>

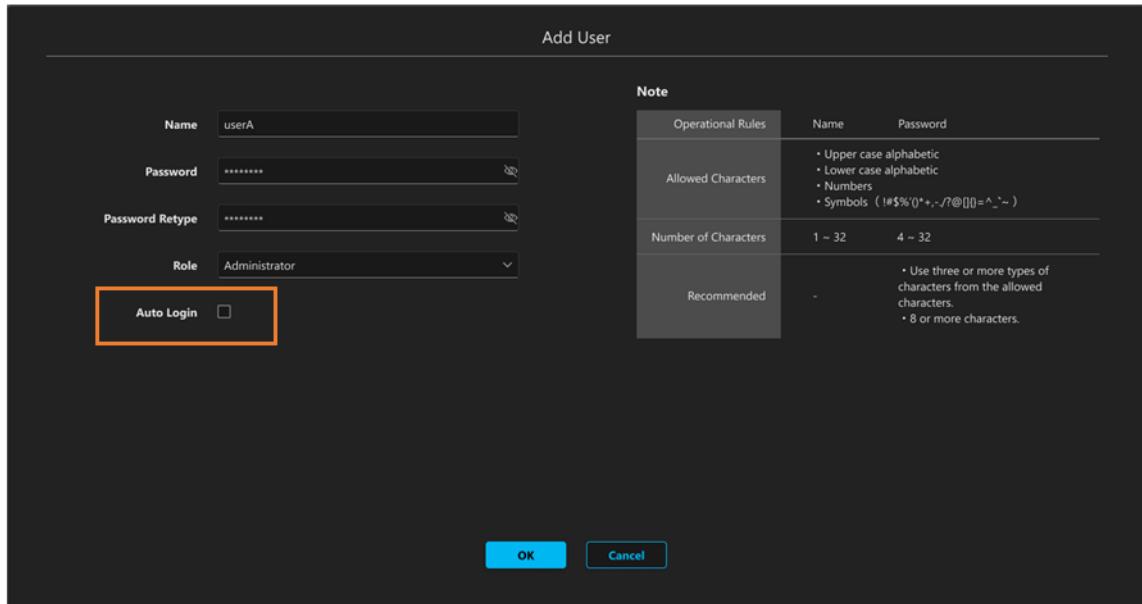
- ・自動ログイン設定を行った場合、パスワードによるアカウント認証が行われないため、セキュリティ的に脆弱な状態となります。セキュリティリスクを理解の上、設定を行ってください。

パターン 1 : Administrator 権限アカウントの自動ログインの設定手順

1. 画面左上の[Common]タブをクリックして共通設定の画面を表示します。
2. 共通設定の画面で[User]タブをクリックしてアカウント管理画面を表示します。



3. アカウント一覧のリストから、自動ログイン設定を行いたい Administrator 権限アカウントを選択します。
4. [Edit]ボタンをクリックしてアカウント編集画面を表示します。



5. [Auto Login]のチェックを ON にします。
6. セキュリティ確認のメッセージが表示されます。セキュリティリスクを理解の上、設定を行う場合は[OK]ボタンをクリックします。
7. [OK]ボタンをクリックして設定画面を閉じます。
8. 次回以降、Web ブラウザで以下の URL を指定して GUI を表示するとログイン画面が省略されます。
[http://\[サーバーPC の IP アドレス\]/MediaProductionSuite/Base/](http://[サーバーPC の IP アドレス]/MediaProductionSuite/Base/)

<NOTE>

- ・自動ログイン設定を無効に戻す場合は、上記手順 5.で[Auto Login]のチェックを OFF にしてください。

パターン2：User権限アカウントの自動ログインの設定手順

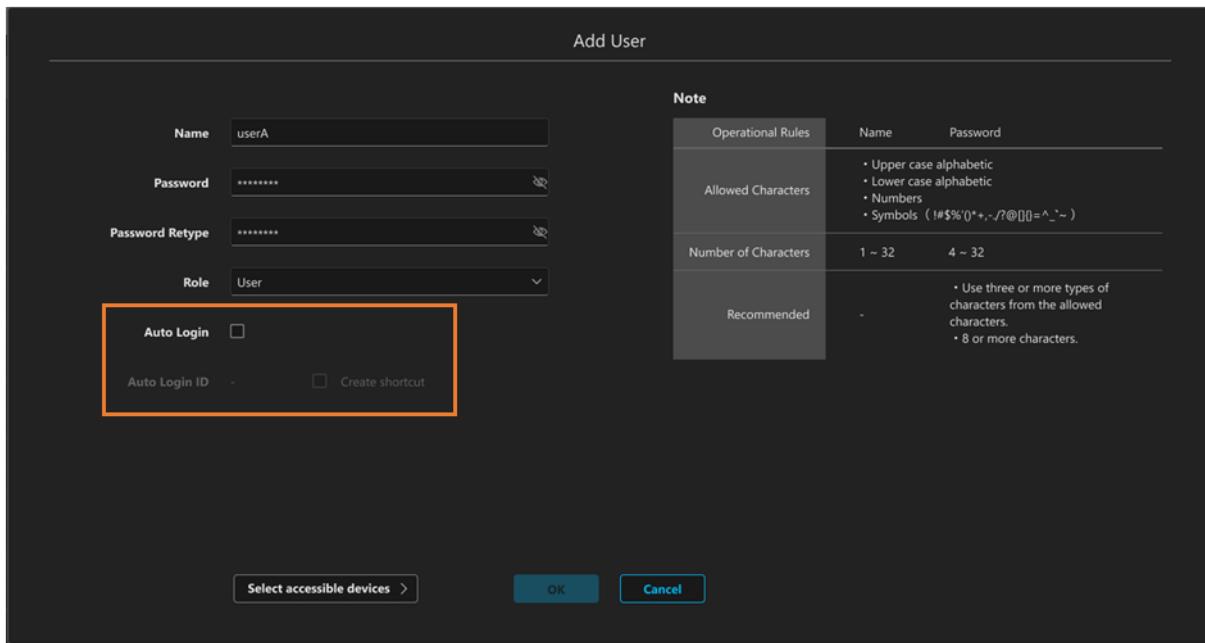
1. 画面左上の[Common]タブをクリックして共通設定の画面を表示します。
2. 共通設定の画面で[User]タブをクリックしてアカウント管理画面を表示します。

The screenshot shows the User account management interface. The 'Common' tab is selected (Step 1). The 'User' tab is selected (Step 2). A user named 'user' is selected (Step 3). The 'Edit' button for this user is highlighted with a red rectangle (Step 4). On the right, there is a 'Note' section with operational rules for passwords:

- Operational Rules
- Name
- Password
- Allowed Characters
 - Upper case alphabetic
 - Lower case alphabetic
 - Numbers
 - Symbols (!#\$%^&*+,.-/?@[]{}=^_`~)
- Number of Characters

1 ~ 32	4 ~ 32
--------	--------
- Recommended
 - Use three or more types of characters from the allowed characters.
 - 8 or more characters.

3. アカウント一覧のリストから、自動ログイン設定を行いたい User 権限アカウントを選択します。
4. [Edit] ボタンをクリックしてアカウント編集画面を表示します。



5. [Auto Login] のチェックを ON にします。

チェックを ON にすると [Auto Login ID] 欄に自動ログイン用 ID が表示されます。この ID は Web ブラウザで GUI を開くときの URL に使用します。

6. セキュリティ確認のメッセージが表示されます。セキュリティリスクを理解の上、設定を行う場合は[OK]ボタンをクリックします。
7. [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。
8. 次回以降、Web ブラウザで以下の URL を指定して GUI を表示するとログイン画面が省略されます。

[http://\[サーバーPCのIPアドレス\]/MediaProductionSuite/Base&login/id=\[Auto Login ID\]](http://[サーバーPCのIPアドレス]/MediaProductionSuite/Base&login/id=[Auto Login ID]) に表示された ID]

(サーバーPCのIPアドレスが 192.168.0.200、Auto Login ID が aeghhijr のときの例：
<http://192.168.0.200/MediaProductionSuite/Base&login/id=aeghhijr>)

アカウント編集画面の [Create shortcut] ボタンをクリックすると、上記 URL にアクセスするショートカットをデスクトップに作成します。

<NOTE>

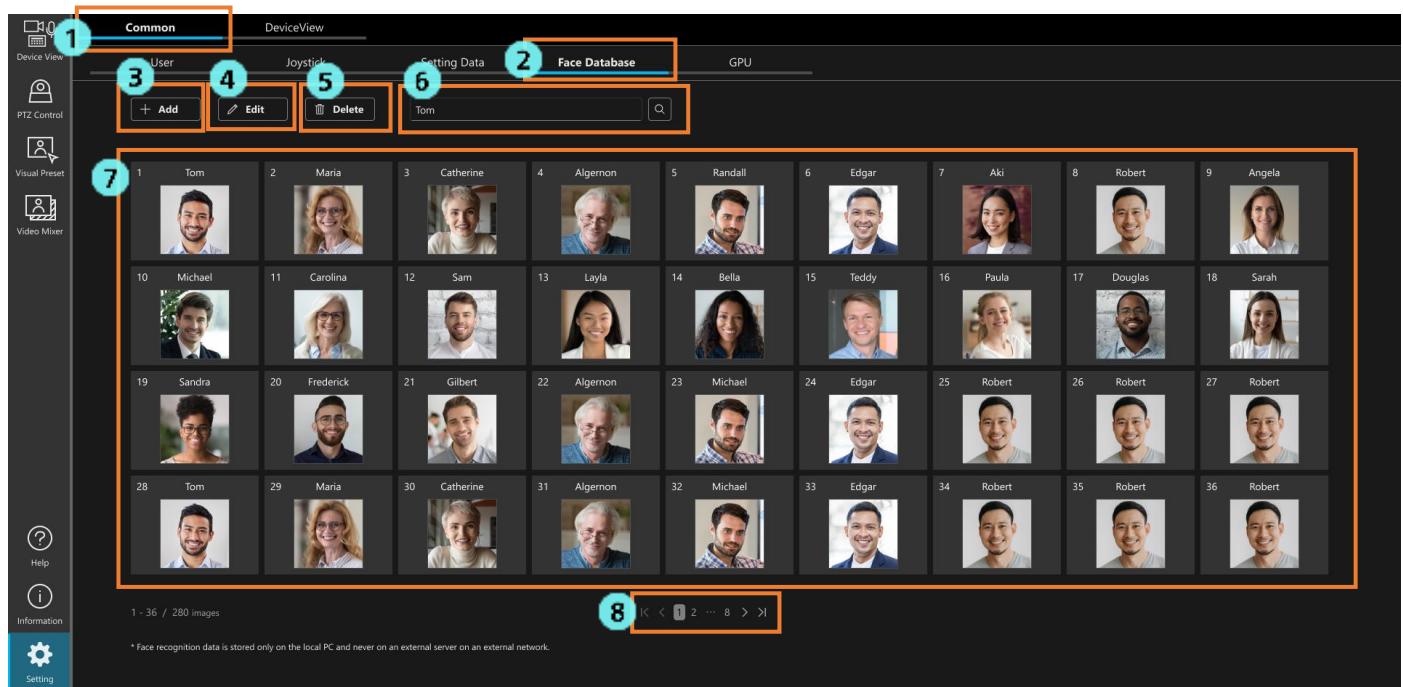
- ・自動ログイン設定を無効に戻す場合は、上記手順 5.で[Auto Login]のチェックを OFF にしてください。

顔認証用の顔データ管理

顔データを管理する

この画面では、登録する顔データを一括管理できます。

1. 画面左上の[Common]タブをクリックして共通設定の画面を表示します。
2. 共通設定の画面で[Face Database]タブをクリックして[Face Database]画面を表示します。



以下は、[Face Database]画面の説明です。

3. Add ボタン

左クリックで、顔データ追加画面を表示します。

詳細は、本書の[顔データを追加する]を参照ください。

4. Edit ボタン

左クリックで、顔データ編集画面を表示します。

詳細は、本書の[顔データを編集する]を参照ください。

5. Delete ボタン

7. 顔データ一覧表示の顔データを左クリックで選択の上、Delete ボタンを左クリックすることで、選択されている顔データを削除することができます。

6. 顔画像検索ボックス

名前を入力することで、登録されている顔データを検索することができます。

検索結果は一覧表示に表示されます。

7. 顔データ一覧表示エリア

登録されている顔データの一覧です。

顔データをクリックすることで選択／解除を行うことができます。

選択されている顔データは背景が青色で表示されます。

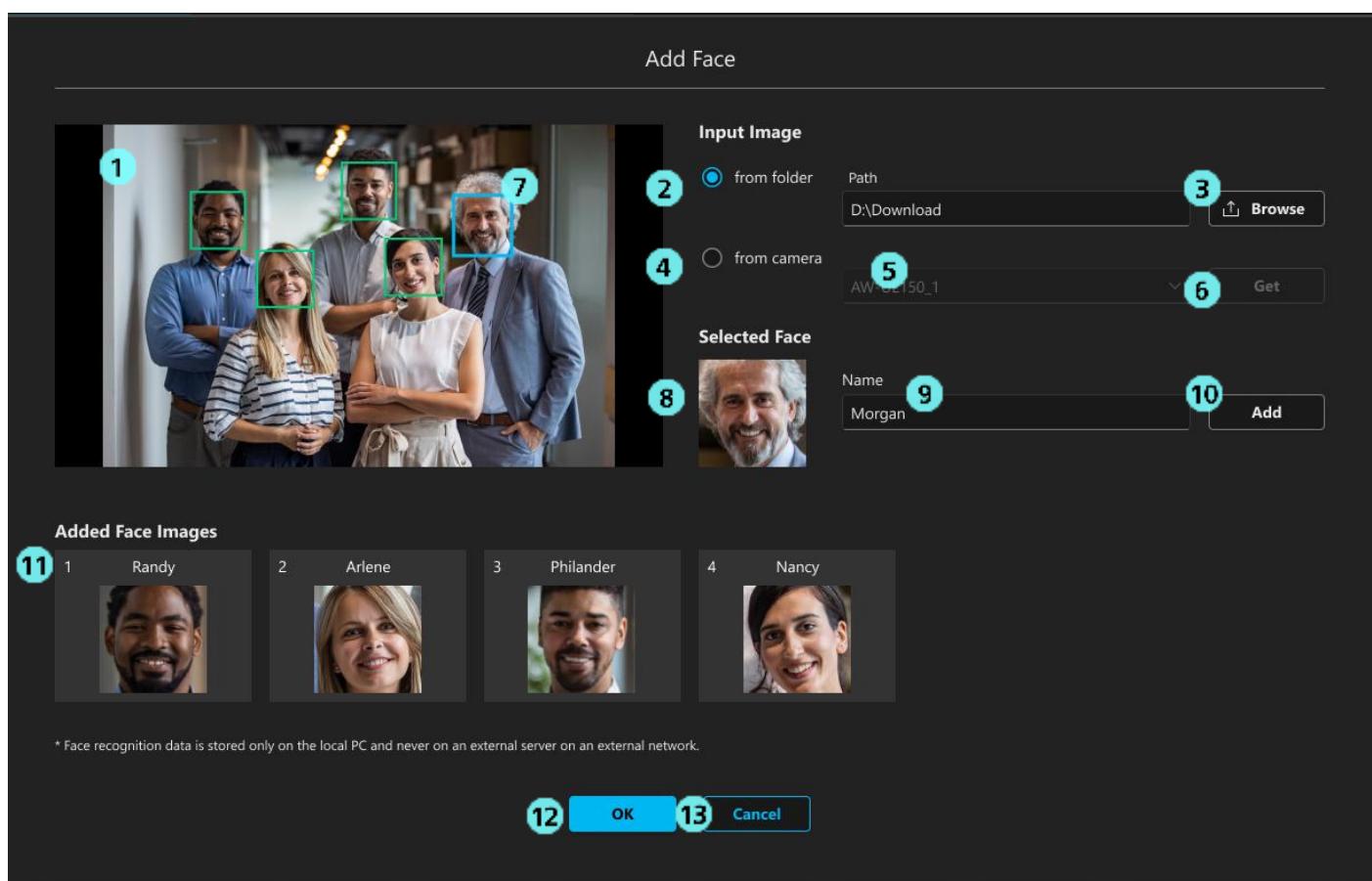
8. ページ切り替えボタン

顔データ一覧表示のページを切り替えることができます。

顔データを追加する

この画面では、新しい顔データを追加できます。 ※1

[顔データを管理する]画面の 3. Add ボタンを左クリックすると、以下の[Add Face]ウィンドウが表示されます。



1. 画像表示エリア

Browse ボタンまたは Get ボタンの操作によって読み込まれた画像が表示されます。

2. フォルダー ラジオボタン

本ソフトウェアをインストールしたデバイスから画像を選択する場合にクリックします。

3. Browse ボタン ※2

クリックすると画像選択ダイアログが表示され、JPEG 画像を読み込むことができます。 ※3

4. カメラ ラジオボタン

カメラの映像から顔を登録する場合にクリックします。

5. カメラ選択ボックス

映像をキャプチャする対象のカメラを選択します。

Auto Tracking 機能動作中のカメラが一覧に表示されます。

6. Get ボタン ※3

左クリックすると、カメラ選択ボックスで選択されたカメラの映像をキャプチャして読み込みます。

7. 顔検出表示枠

読み込まれた画像の中に顔が検出されると、顔の範囲に枠が表示されます。

枠をクリックするとその顔を対象として選択します。選択中の顔は青枠で表示されます。

8. 顔画像表示

選択されている顔の画像が表示されます。

9. 名前入力欄

選択されている顔の登録名を入力します。

10. Add ボタン

ボタンをクリックすると選択されている顔の画像と名前が登録されます。

11. 登録顔表示エリア

登録が完了した顔画像と名前が表示されます。

複数人の顔を一度に登録することができます。

12. OK ボタン

設定を有効にしてウィンドウを閉じます。

13. Cancel ボタン

設定をキャンセルしてウィンドウを閉じます。

<NOTE>

※1：顔データの登録は、顔認証を使用するプラグイン[Auto Tracking 等]が有効である場合のみ、操作可能です。

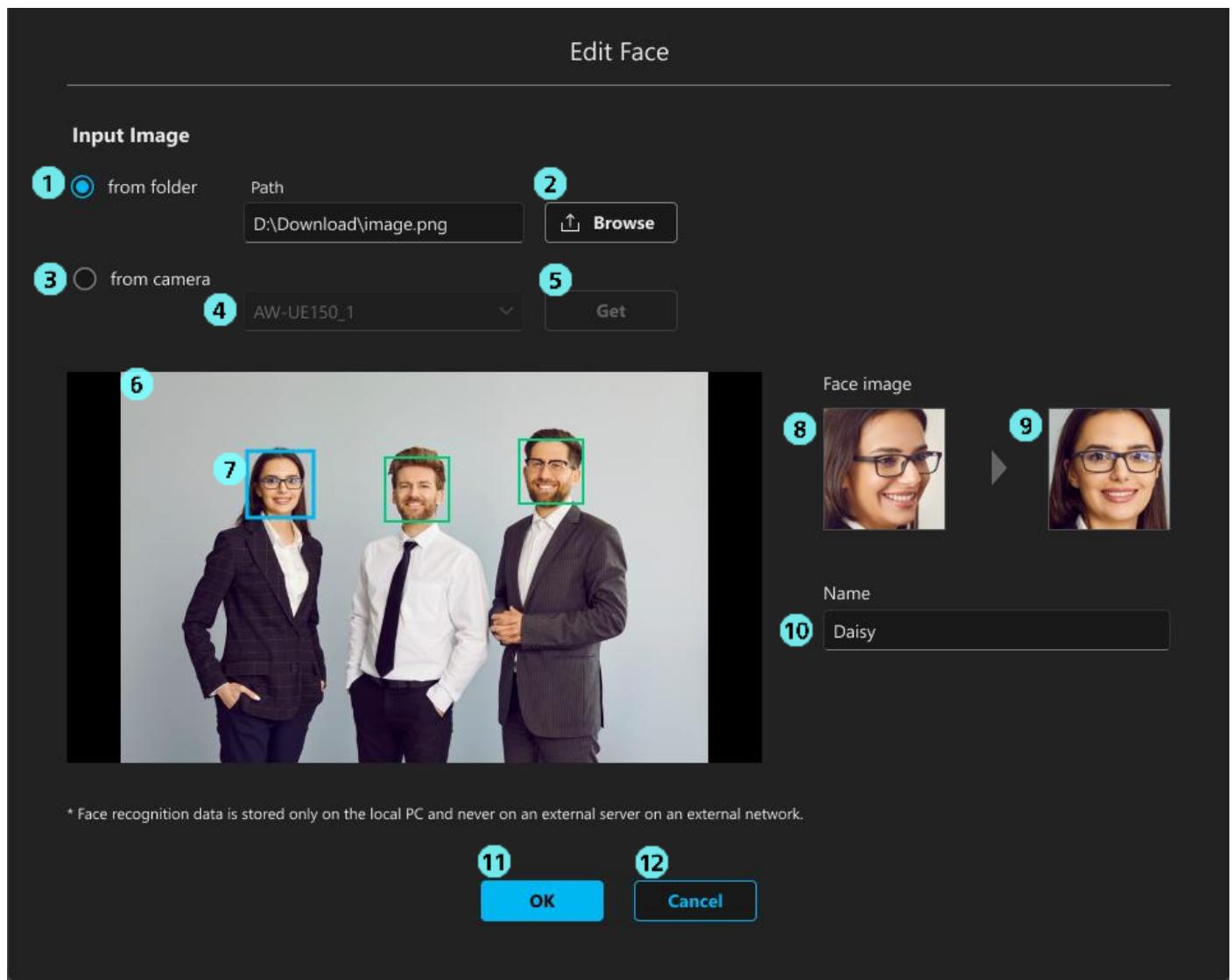
※2：フォルダーの Browse からの画像読み込み、カメラの Get からのカメラ画像読み込みは、何度でも行うことができます。これにより、複数の画像ファイル、カメラ画像の顔データを順番に登録できます。

※3：JPEG 画像以外を読み込むことはできません。

顔データを編集する

この画面では、すでに登録されている顔データの顔画像または、登録名を編集できます。 ※1

[顔データを管理する]画面の 7. 顔データ一覧表示エリアの中で、編集したい顔データを一つ左クリックし、[顔データを管理する]画面の 4. Edit ボタンを左クリックすると、以下の[Edit Face]ウィンドウが表示されます。



1. フォルダー ラジオボタン

クリックすると画像選択ダイアログが表示され、JPEG 画像を読み込むことができます。 ※2

2. Browse ボタン

本ソフトウェアをインストールしたデバイスから画像を選択する場合にクリックします。

3. カメラ ラジオボタン

カメラの映像から顔を登録する場合にクリックします。

4. カメラ選択ボックス

映像をキャプチャする対象のカメラを選択します。

Auto Tracking 機能動作中のカメラが一覧に表示されます

5. Get ボタン

左クリックすると、カメラ選択ボックスで選択されたカメラの映像をキャプチャして読み込みます。

6. 画像表示エリア

Browse ボタンまたは Get ボタンの操作によって読み込まれた画像が表示されます。

7. 顔検出表示枠

読み込まれた画像の中に顔が検出されると、顔の範囲に枠が表示されます。

枠をクリックするとその顔を対象として選択します。選択中の顔は青枠で表示されます。

8. 編集前の顔画像表示

現在登録されている顔の画像が表示されます。

9. 編集後の顔画像表示

7 で選択されている新しい顔の画像が表示されます。

10. 名前入力欄 ※3

編集後の顔の登録名を入力します。

Edit Face 画面を表示した時は、編集前の顔の登録名が入力されています。

11. OK ボタン

設定を有効にしてウィンドウを閉じます。

12. Cancel ボタン

設定をキャンセルしてウィンドウを閉じます。

<NOTE>

※1：顔画像の編集は、顔認証を使用するプラグイン[Auto Tracking 等]が有効である場合のみ、操作可能です。顔の登録名の変更は、顔認証を使用するプラグイン[Auto Tracking 等]が無効でも可能です。

※2：JPEG 画像以外を読み込むことはできません。

※3：登録名だけ変更することも可能です。登録名だけ変更する場合は、7. 顔検出表示枠を指定せずに、10. 名前入力欄に直接変更したい登録名を入力して、11. OK ボタンを左クリックしてください。

顔データを削除する

すでに登録されている顔データを削除できます。

1. 本書の[顔データを管理する]の[Face Database]画面を表示します。
2. [Face Database]画面の 7. 顔データ一覧表示の中で削除したい顔データを左クリックで選択します。
選択状態になると、選択された顔データの背景が青色になります。
3. [Face Database]画面の 5. Delete ボタンを左クリックします。 ※1
4. 顔データ削除の確認ウィンドウが表示されます。
5. 顔データ削除の確認ウィンドウの中の OK ボタンを左クリックすることで、選択されている顔データの削除が完了します。

<NOTE>

※1：現在、いずれかのカメラで顔認証に使用されている顔データは削除することができません。

削除したい場合は、該当の顔データがどのカメラにも設定されていないようにしてください。

顔データを並び替える

すでに登録されている顔データの順番を並べ替えることができます。

顔データの表示順は、Auto Face Search が ON で追尾を行う場合（顔データが登録されている人物全員から追尾対象を検出する場合）の検出優先順位に影響します。

ID が小さいほど、検出の優先順位は高くなります。

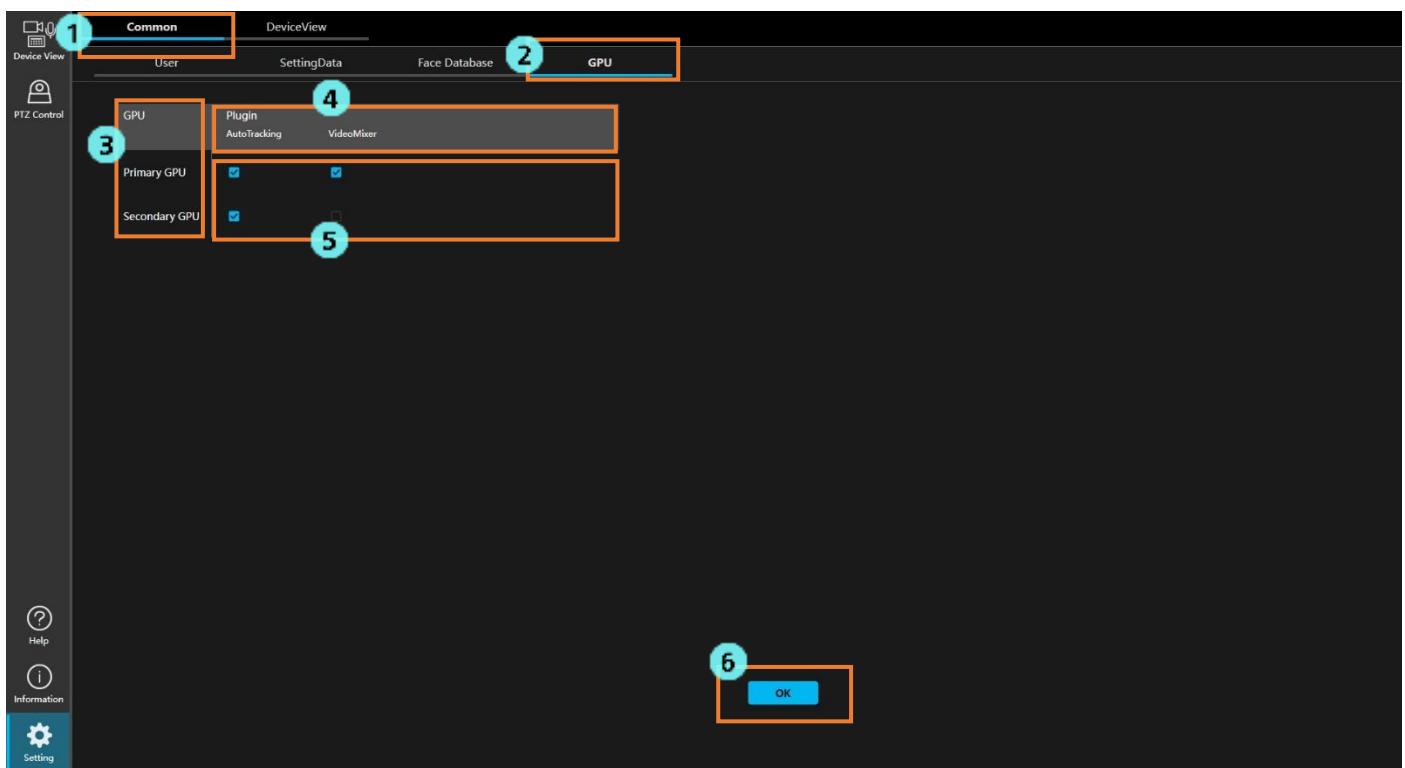
1. 本書の[顔データを管理する]の[Face Database]画面を表示します。
2. [Face Database]画面の 7. 顔データ一覧表示の中で、並びたい顔データの顔写真を左クリックしてドラッグします。
3. ドラッグした顔データを別の顔データの位置にドロップすると、ドロップした位置に顔データが移動します。

GPU 管理

プラグインで使用する GPU を指定する

この画面では、プラグインで使用する GPU を指定することができます。

1. 画面左上の[Common]タブをクリックして共通設定の画面を表示します。
2. 共通設定の画面で[GPU]タブをクリックして[GPU]画面を表示します。



以下は、[GPU]画面の説明です。

3. GPU 表示

本ソフトウェアがインストールされている PC に搭載されている NVIDIA 社製 GPU の台数によって
以下のように表示します。 ※1

1 台目 : Primary GPU

2 台目 : Secondary GPU

3 台目 : Tertiary GPU

4 台目 : Quaternary GPU

4. Plugin 表示

GPU を使用するプラグイン名が表示されます。

現状では、Auto Tracking、Video Mixer、Advanced Auto Framing が表示されます。

5. プラグインで使用する GPU の指定

✓を入れることで、プラグインで使用する GPU を指定することができます。 ※2 ※3

✓を外すと、対応するプラグインが終了し、✓を外したプラグイン機能を使用できなくなります。

6. OK ボタン

5. プラグインで使用する GPU のチェックボックスの設定が保存されます。

<NOTE>

※1：性能の良い GPU から順に Primary GPU、Secondary GPU、Tertiary GPU、Quaternary GPU となります。

※2：Auto Tracking、Advanced Auto Framing の場合、複数の GPU に✓を入れることができます。

※3：Video Mixer の場合、現在使用する GPU は Primary GPU のみに固定されています。

本ソフトウェアの設定データ管理

設定データをエクスポートする

本ソフトウェアの設定データを任意の場所にエクスポートすることができます。

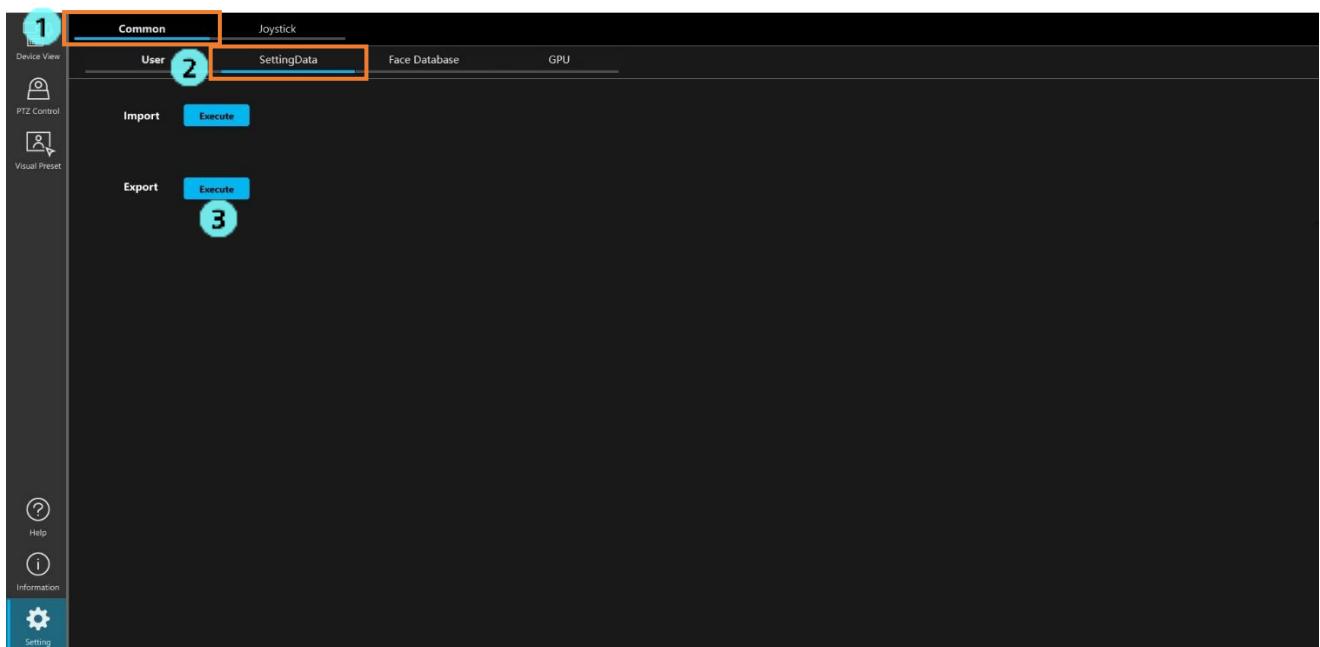
エクスポートしたデータを他のサーバーPCで動作している本ソフトウェアでインポートすることで、設定データをコピーして動作させることができます。

<NOTE>

- ・アクティベーションしている有償プラグインのライセンス情報はエクスポートデータには含まれません。ライセンス情報を他のサーバーPCに移動したい場合は Information 機能からライセンスのディアクティベーションを行ってください。
- ・有償プラグイン Video Mixer の設定データはエクスポートの対象外となります。

エクスポートは以下の手順で行います。

1. 画面左上の[Common]タブをクリックして共通設定の画面を表示します。
2. 共通設定の画面で[Setting Data]タブをクリックして設定データ管理画面を表示します。



3. [Export]欄の[Execute]ボタンをクリックすると、本ソフトウェアの設定データが複数のファイルに分かれて Windows のダウンロードフォルダーにエクスポートされます。

※Web ブラウザにダウンロードの許可確認が表示された場合は、許可してください。

設定ファイルは database_*.bak のファイル名でエクスポートされます。

無償のベースソフトウェアのみが有効になっている環境では database_base.bak と database_ptz.bak の 2 ファイルがエクスポートされます。有償プラグインが有効になっている環境では、各プラグインのファイル (database_visual.bak など) もエクスポートされる場合があります。

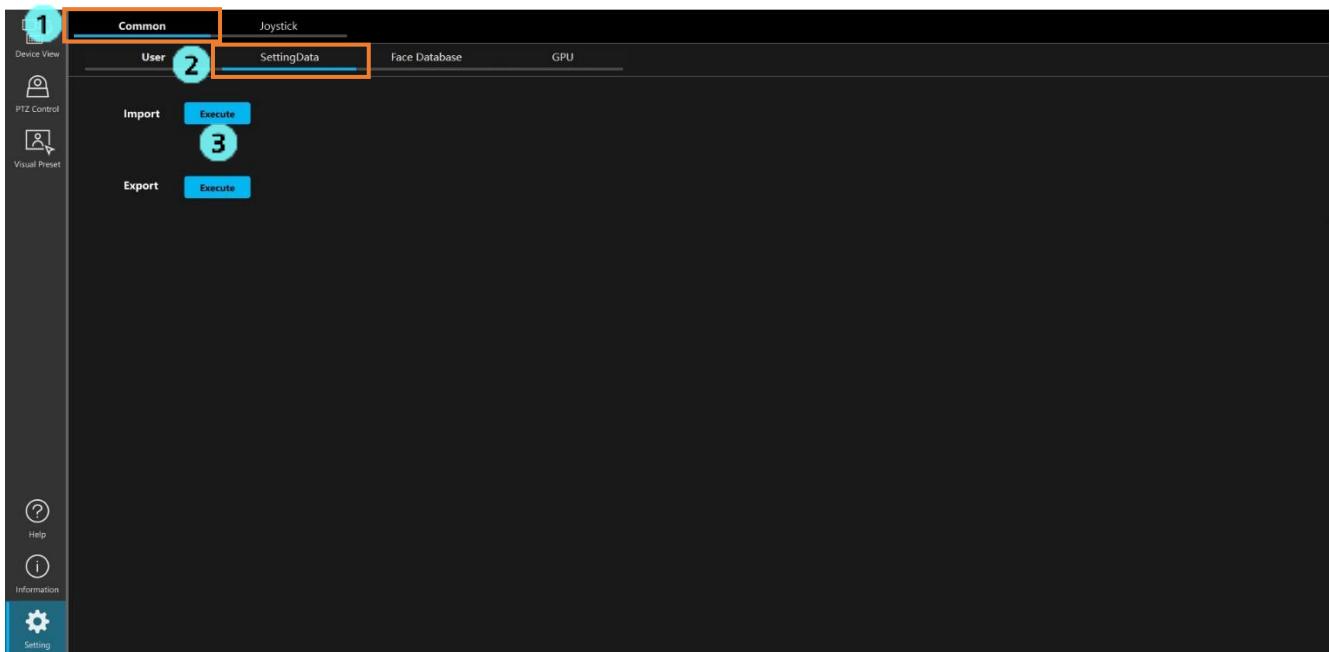
設定データをインポートする

エクスポートした設定データは以下の手順でインポートします。

<NOTE>

- ・インポートを行うと、現在の設定データはすべてインポートしたデータで上書きされます。
- ・インポートを行うと、本ソフトウェアは自動で再起動します。

1. 画面左上の[Common]タブをクリックして共通設定の画面を表示します。
2. 共通設定の画面で[Setting Data]タブをクリックして設定データ管理画面を表示します。



3. [Import]欄の[Execute]ボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示されますので、エクスポートした設定データのファイルをすべて選択します。
4. ファイル選択ダイアログを OK で閉じるとインポートが行われます。インポート後、本ソフトウェアは自動で再起動します。

Device Manager 機能の設定

リスト表示の表示項目を設定する

Device Manager 機能でデバイスをリスト表示するときの表示項目を設定することができます。

詳細は Device Manager 機能の操作説明書の「デバイスの一覧表示と設定値の変更」→「リスト表示に表示する項目を設定する」を参照ください。

EasyIP Setup Tool Plus 機能の表示項目を設定する

Device Manager 機能で EasyIP Setup Tool Plus 機能を使用するときの表示項目を設定することができます。

詳細は Device Manager 機能の操作説明書の「内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能」→「デバイスリストの表示項目を設定する」を参照ください。